

指定管理者施設の管理運営状況評価(モニタリング)シート(平成25年度事業分)

1 施設の概要

施設名	山梨県立リニア見学センター	所管課	リニア推進課
所在地	都留市小形山2381	設置年月日 (改築年月日等)	平成9年3月28日 (平成26年3月19日)
管理方式	指定管理者(都留市、平成23年4月1日～平成26年3月31日)		
設置根拠 (法律、条例等)	山梨県立リニア見学センター設置及び管理条例		
設置目的	より多くの人にリニアモーターカー及び山梨リニア実験線をわかりやすく紹介し、リニア中央新幹線の早期実現に向けて広く普及啓発するため、リニア見学センターを設置する。		
主な施設内容 (定員等)	1階:事務室・売店(219.26㎡) 2階:展示室(144.18㎡) 3階:展望室(111.49㎡)		
主な業務内容	リニアモーターカーに関する情報の収集及び提供に関する業務 施設及び設備器具の維持保全に関する業務 その他知事が必要と認める業務		

2 類似施設・近隣施設

名称 施設内容 利用状況等	
---------------------	--

3 利用状況

単位:人、%

		平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度 (目標値)
利用者数	入館者数	82,293	53,225	54,308	
	利用者数合計	82,293	53,225	54,308	
	目標値	85,000	76,500	85,000	100,000
	目標値設定の考え方	・23年度もリニア試乗会の再開は見込まれない え、10月以降走行試験が行われない可能性が高いため前年度と同数とする。	・24年度は走行試験が行われな いため、前年度の10%減とする。	・25年度は走行試験が9月から再開するため、H23年度と同数とする。	指定管理者募集の際に基準とした来館者数を目標値とする。
	対23年度比	100.0%	64.7%	66.0%	121.5%
稼働率					

4 収支状況

単位：円、%

		平成24年度	平成25年度 (計画値)	平成25年度 (実績値)	平成26年度 (計画値)
収入	施設利用料	0	0	0	24,900,000
	指定管理者委託料	18,096,000	17,927,000	17,927,000	71,754,000
	その他	2,527	0	699,860	18,258,000
	収入合計(A)	18,098,527	17,927,000	18,626,860	114,912,000
支出	人件費	5,994,120	6,240,000	5,999,806	50,477,000
	県への納付金	0	0	0	0
	管理運営費	12,104,407	11,687,000	12,627,054	64,435,000
	(うち外部委託費)(B)	2,387,950	2,125,000	2,098,486	16,302,000
	支出合計(C)	18,098,527	17,927,000	18,626,860	114,912,000
収支差額(A - C)		0	0	0	0
外部委託比率(B ÷ C)		13.2%	11.9%	11.3%	14.2%
利用者一人当たりの経費		340	211	330	718

5 利用者満足度

実施方法等	実施時期：平成25年4月～26年3月 実施方法：来館者へのアンケート、回答数：436人
-------	--

単位：%

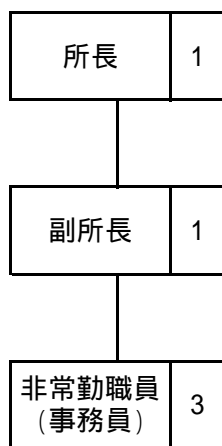
調査項目	満足・十分	普通・ どちらでもない	不満足・ 不十分	不明・ わからない
施設の整備状態	63.3%	0.0%	12.6%	24.1%
展示品の充実度	53.7%	0.0%	20.9%	25.5%
リニアへの理解度	28.7%	62.4%	8.9%	0.0%
施設全体の満足度	38.1%	49.5%	12.4%	0.0%
各項目の平均	45.9%	28.0%	13.7%	12.4%

利用者の意見	<ul style="list-style-type: none"> ・走行試験を見ることができて興奮した。 ・高台に新たな展望広場を造ってほしい。 ・実物車輛を展示してほしい。 ・開発に至るまでのドキュメント映像がほしい。 ・展示物を増やしてほしい。 ・浮上走行を体感できる装置がほしい。 ・地下鉄にリニアが高揚されていることがわかった。 ・速度の限界はどのような理由か知りたい。子どもにもわかりやすい説明がほしい。 ・2階シアターに音声してほしい。
利用者の意見への対応	・利用者の声を聞き、改善に努めるとともに、新館オープンに向けて要望を行った。

6 評価結果

	指定管理者の自己評価	施設所管課の評価
維持管理業務	見学者が気持ちよく入館できるよう清掃業務を行うとともに、周辺緑地の下刈りなど周辺緑地の美化に努めた。 施設の老朽化に伴い、施設内の修繕が必要になっているが、適宜修繕を行い適正に管理を行った。	業務仕様書、業務計画書のとおり、適正に実施されている。
運營業務	施設内作業や大雪による臨時休館を行ったが、その他は事業計画通りの開館を行い、見学者の来館に合わせ開閉館時間を変更するなど便宜を図った。また、来館者の要望に対応し、館内案内等を実施するなど、リニアに対する認識を高めるための業務を行った。	業務計画書のとおり適正に実施されている。 改修工事の影響で、見学できないフロアがあったときがあるが、来館者への説明も丁寧に行っていた。
自主事業		
利用状況	8月末から走行試験が再開されたが、施設の改修工事の影響もあり、ここ数年減少していた来館者数を維持するのがいっばいで、事業計画書に掲げた目標を達成できなかった。	走行試験は再開したが、その周知・広報が不足するとともに、施設の改修工事も重なったため、利用者数は前年並みにとどまった。
収支状況	事業計画により適正に処理したが、指定管理期間終了に伴う契約解除等の手続きにかかる臨時的支出、工事事業者使用分の水道料金、館内修繕等により支出超過し、超過分は指定管理者一般財源を投入した。	新館建設工事に伴い、電気料が増大するなど当初の想定と異なる事象にも適切に対応した。
利用者満足度	来館者にアンケートを実施するなど、来館者の生の声を聞く中で、改善に努めるとともに、施設の充実等について要望を行った。	走行試験が行われなかったり、改修工事を行ったりと外部の要因により、利用者の満足度は高くなかったが、利用者ニーズを十分に把握に努め、一部については、新館に反映することができた。
運営目標の達成状況	総利用者数は目標総利用者数(85,000人)の64%である54,308人と目標を大きく下回り、走行試験が全く行われなかった平成24年度の総利用者数(53,225人)から微増にとどまった。	
施設所管課による総合的な評価及び指導事項	維持管理・運營業務については、条例、協定書等に基づき概ね適正に履行されていた。 利用者数については、例年は来館者数が多い8月まで走行試験が行われなかったことや工事に伴う臨時休館、展示エリアの減少などの外的な要因から大きく減少した。	
施設所管課の指導事項に対する指定管理者の対応状況	維持管理・運營業務については、これまでの指導事項に対し、適切に対応した。	

7 管理体制(組織図)



所長	1人
副所長	1人
非常勤職員	3人
合計	5人